

都市ごみ焼却排ガス中の微小粒子の挙動

Behavior of Particulate Matter in Flue Gas  
from Municipal Solid Waste Incinerator

本研究では、現在の廃棄物焼却炉から排出されるばいじんが大気中SPM、PM2.5等を与える影響や微小粒子の有害性を明らかにするために都市ごみ焼却炉(4施設)から排出されるばいじんの粒径別性状を調査した。また、約10年前に同一施設において行った同様の調査結果と比較することにより、新旧集塵装置の評価を行い、ばいじん対策強化施策の効果を明らかにした。ダストの頻度分布は集塵機前は2山型のピークをしめした。一方煙突のダストについては頻度分布に傾向は見られなかった。これは過去の調査結果と同様であった。集塵効率についてはいずれの施設においても約99.99%となった。これは旧集塵機と比べて向上した。XAFSの結果から粒径の小さいダストにSb(III)、CdCl<sub>2</sub>、PbCl<sub>2</sub>、Crメタルが主な存在形態と示唆された。

今井 玄哉

Genya Imai

都市ごみ焼却、SPM、PM2.5、XAFS

Municipal Solid Waste, SPM, PM2.5, XAFS